

平成27年新年会

2015年の千葉滋賀県人会の新年会が2月11日（水、祭）に三井ガーデンホテル千葉にて開催されました。

昨年新年会は近年に無い大雪で交通機関がマヒし35名の参加でしたが、今年は天候に恵まれ57名の会員の参加を得ました。

中村会長の挨拶に続き、新年会恒例の講演は野田市在住で気象予報士、千葉県地球温暖化防止活動推進員の田中和孝氏による「子や孫に残そう 日本の四季を一異常気象と地球温暖化 私たちに出来ること一」でした。

講演内容は、プロジェクターによるデータを交え、世界の異常気象、長期的な地球温暖化の状況と将来の見通し、地球温暖化の影響として桜の開花日の早期化、真夏日・熱帯夜の増加、短期間強雨の発生回数の増加、作物の生産量・生産適地の変化等を解りやすく説明されました。これらの地球温暖化の原因は「人間活動の影響を受ける温室効果ガスの増加」で二酸化炭素排出量増加が大きな要因である。この二酸化炭素排出量を削減することが我々の責務であり、具体的には家庭からの排出量の半分を占める電気の消費量を減らす「節電・省エネ」の取り組みが重要との認識を共有しました。会員からもいくつかの質問があり、有意義な講演会となりました。

講演に続く参加者全員の記念撮影の後、懇親会に入り、全滋連会長の代理の中居正威氏（東京滋賀県人会理事）のご発声で乾杯。続いて会員有志（横田、三宅、井上（嘉）、小野各氏）による謡曲「鶴亀」の新年会らしい披露がありました。

その後各テーブルを中心とした和やかな談笑が途切れず、その間、初出席者4名の自己紹介、そして園川裕顧問の中締めに続き、恒例の「琵琶湖周航の歌」の斉唱をし、故郷長浜の銘菓 堅ボーロと中村浩会長提供のクラブハリエ（たねや）のバウムクーヘンを手土産にお開きとなりました。